

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：滋賀県立河瀬中学校
- 2 実施日時：2018（平成 30）年 12 月 20 日（木）14:30-16:30
- 3 対象：全校生徒 240 名
- 4 派遣アスリート：北田 千尋 さん
(車いすバスケットボール 日本代表)

5 授業内容：講演および実技体験

2018（平成 30）年 12 月 20 日（木）に、滋賀県立河瀬中学校にてオリンピック・パラリンピック教育実践が行われました。今回の実践では、車いすバスケットボールのアスリートである北田千尋さんをお招きし、講演および実技体験が行われました。

北田さんは現在、車いすバスケットボールのクラブチーム「カクテル」にキャプテンとして所属しています。チームは全日本選手権 5 連覇中で、北田さん自身は 4 回の MVP を獲得しています。「ともに生きる」というテーマで行われた北田さんの講演は、3 部に分かれていました。自己紹介の後、「一緒に良い授業を作りたいから、みんな答えてね」と北田さんが生徒たちに呼びかけると、会場は少し和んだ様子でした。

第 1 部は、車いすバスケットボールについて紹介されました。車いすバスケットボールは一般的なバスケットボールとほぼ同じルールで行われます。北田さんは、車いすに乗ることは、スポーツに合わせて靴を履き替えるのと同じとお話しされていました。車いすバスケットボールの最大の特徴となる持ち点制度や、競技用と日常生活用の車いすの違いについても説明がありました。持ち点制度は、障害の程度に応じて 1 点から 4.5 点までの持ち点が選手個人に与えられるもので、この制度により出場機会の平等が図られ、役割分担や戦略が生まれます。その後、北田さんが、素早く車いすを操作しながらドリブルやシュートを披露すると、大きな拍手が起こっていました。何名かの生徒や先生も、車いすに乗った状態でのシュートに挑戦しました。下半身を使えないためボールがリングに届かなかったりしましたが、最後にはシュートを決め、会場からも歓声が上がっていました。

第 2 部では、北田さんの車いすバスケットボールとの出会いが話されました。先天性の股関節脱臼と筋性斜頸を患っていた北田さんは、重い気管支喘息と肺炎も持っていたため、幼い頃は入院期間が非常に長かったそうです。症状が改善し普通の小学校へ通いはじめてからも、股関節の障害のために、みんなと同じようにできないことが多く、また、長い入院生活ゆえの内気な性格で、活発な子どもではありませんでした。中学校入学後は、近所で仲の良かった先輩に誘われバスケ部に入りましたが、ただ見ていることしかできず、1 試合でいいから走ってみたいと思っていたそうです。選手の道を諦め、バスケ部のない高校に進学したものの、漫画の影響で自らバスケ部を立ち上げ、初心者であるチームメイトに教えながら試合に出るようになりました。そこで、指導者としてならバスケに携われると感じ、教師を目指しました。しかし、その後のインターンで訪れた障害者支援センターで車いすバスケットボールを勧められ、練習に参加したところ、初めて風を感じることができ、選手になることに決めました。就職後には仕事と競技との両立を図りましたが、リオパラリンピックの予選に負けたことを

機に、選手に専念することにし、オーストラリアで3年間、選手としての経験も積んだとのこと。それらの経験を通し、「自分の夢に向かうことで、どんどん新しい扉が開いていく。自分の身に起こることを楽しんでほしい」、「『今』というのはその瞬間だけだから、思い切ってチャレンジしてほしい」とお話しされていました。

第3部のテーマは、「ともに生きる」でした。障害者の生活を想像してみると、いろんなことに気付くということをお話しされ、そのような生活や人が、生徒たちと遠い世界にあるわけではないということや、自分や身近な人がそういう風になることもあるかもしれないと話していました。そして、最近ではバリアフリーの設備が整ってきた一方で、それが誰のためにあるのか、なぜあるのかが理解されなければならないということや、駐車場やトイレの例を交えてお話ししていました。また、北田さんや他の障害者が、車いすや様々な道具を使っているのは、生活を便利にするためであり、障害は不便ではあっても不幸ではないとお話しされていました。

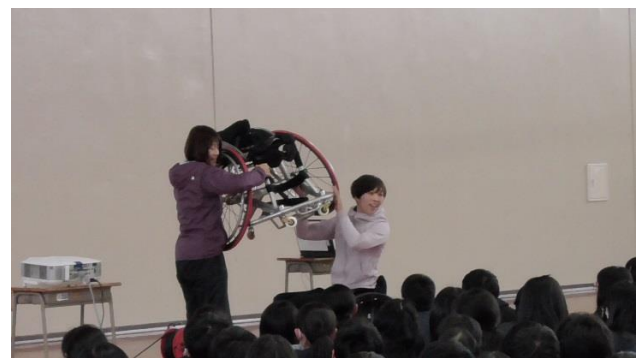
まとめとして、障害や人種等、社会には様々な人がおり、世界は広いということを伝えていました。そして、「普通とは何か」、「どの“普通”が良い・悪いではなく、受け入れることが大切」とお話しされていました。

質疑応答の時間には、多くの生徒が挙手していました。バスケットに関することや、考え方、日常生活に関することが質問としてあがっていました。最後に代表生徒からのお礼の言葉があり、今回の実践は終了となりました。

6 授業の様子



【 講演 】



【 バスケ用車いすの紹介 】



【 ドリブルの実演 】



【 シュートの実演 】



【 車いすでのシュート体験 】



【 質疑応答 】